

# 関西経済レポート(5月号)

- ➡ 3月の鉱工業生産指数は2カ月ぶりの前月比上昇。結果、1-3月期は前期比+4.4%と2期連続の増加となり、前期から伸びは加速した。
- ➡ 4月の貿易動向は輸出は26カ月連続で前年比増加、輸入は2カ月連続で減少。結果、貿易収支は2カ月連続の黒字。
- ➡ 4月の消費者態度指数は5カ月ぶりに悪化。一方、景気ウォッチャー現状判断DI、先行き判断ともに改善している。
- ➡ 4月の大型小売店販売額は前年同月に消費増税に伴う需要の反動減の影響があったため、プラスの伸びが見られた。2カ月ぶりの前年比大幅プラス。
- ➡ 4月の新設住宅着工戸数は前年比大幅減少となり8カ月連続のマイナス。
- ➡ 4月の有効求人倍率は4カ月ぶりの上昇。新規求人倍率も外国人観光客増加により飲食・サービス業を中心に上昇。失業率は非労働力人口増加により3カ月ぶりに悪化した。
- ➡ 4月の公共工事請負金額は前年比+40.9%と6カ月ぶりの大幅増加。3月の建設工事は前年比+1.0%と2カ月ぶりの増加。建設工事の伸びは停滞している。
- ➡ 中国の景気減速はGDP以外の統計からも明瞭である。4月の工業生産は幾分改善したものの、小幅な伸びにとどまった。一方、同月の固定資産投資及び社会消費品小売総額は減速が続いている。

※「近畿」「関西」は、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県。

鉱工業生産、大型小売店販売額のみ、福井を含む2府5県。

※本レポートは、一般財団法人アジア太平洋研究所

“Kansai Economic Insight Monthly”と連携しています。

## ～ 関西経済のトレンド ～

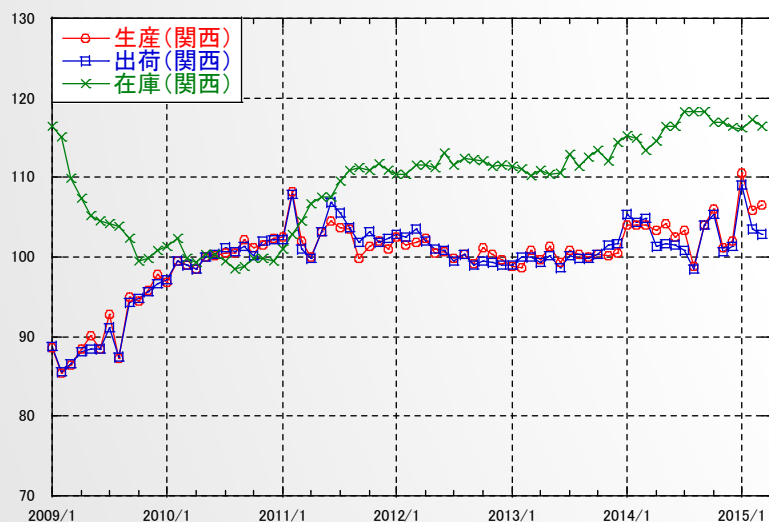
	2014年										2015年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
生産	↗	↗	↘	↗	↘	↗	↗	↘	↗	↗	↘	↗	—
貿易	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↗	↘	↗	↗	↘	↗	↗
センチメント	↘	↗	↗	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↗	↗	↘
消費	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↘	↗
住宅	↗	↘	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
雇用	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↗	↘	↘	↘	↗
公共工事	↗	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↗
中国	↘	↘	↗	↗	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘

## ～目次～

生産	1
輸出入	2
消費者センチメント	3
個人消費・住宅	4
雇用	5
公共投資	6
中国経済動向	7

## ～生産～

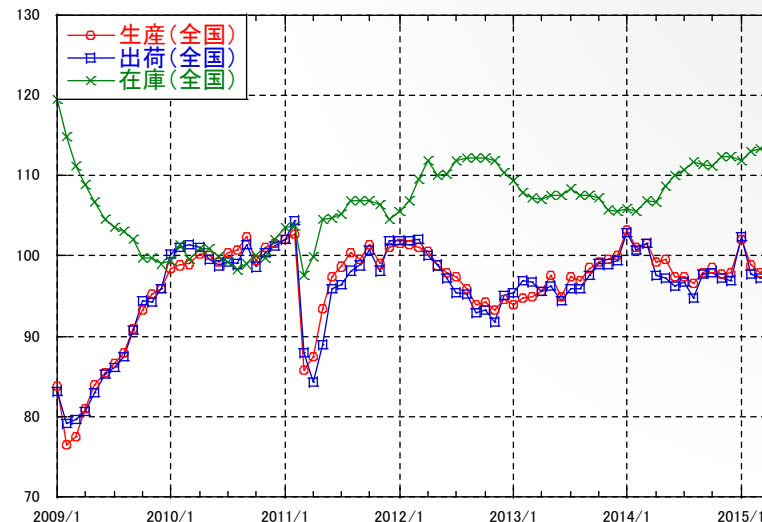
鉦工業指数の推移(近畿・2015年3月まで), 2010年=100



(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

- 関西における3月の鉦工業指数(確報値: 季節調整済)は、生産は106.5で前月比+0.6%と2カ月ぶりの上昇、出荷は102.9で同-0.8%と2カ月ぶりの低下。一方、在庫は116.5で同-0.8%と2カ月ぶりの低下となった。
- 業種別にみると、化学(除. 医薬品)(同-9.6%)、プラスチック製品(同-5.6%)、電気機械(同-2.8%)等が減産となった。一方、はん用・生産用・業務用機械(同+13.0%)、その他(同+3.7%)等は増産となった。
- 足下、関西の生産は低下しているが、1-3月期は前期比+4.4%と2期連続の増産となった。また、2014年度の生産は前年比+3.1%と3年ぶりの増産となった。

鉦工業指数の推移(全国・2015年4月まで), 2010年=100

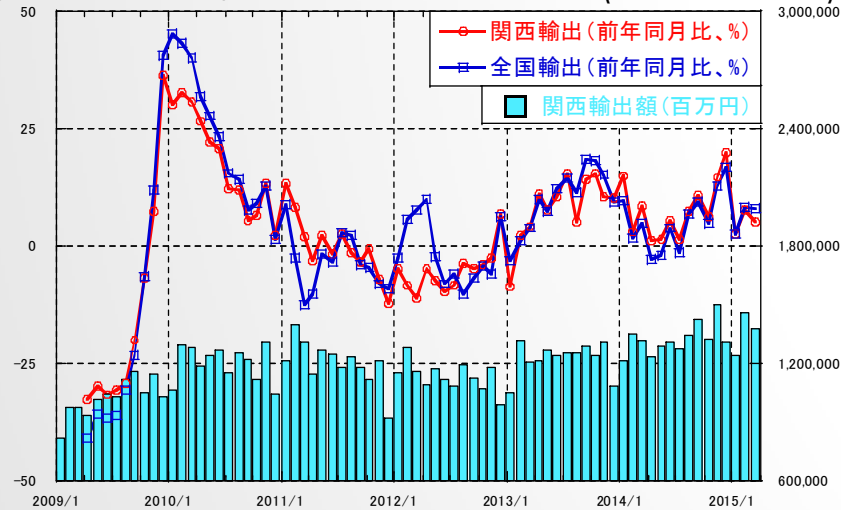


(出所) 経済産業省「鉦工業指数」

- 全国における4月の鉦工業生産指数(速報値、季節調整済)は99.1となり前月比+1.0%、出荷は97.7で同+0.4%といずれも3カ月ぶりの上昇。在庫は113.4で同横ばいとなった。
- 業種別にみると、電子部品・デバイス(同+5.2%)、電気機械(同+6.4%)、金属製品(同+4.5%)等が増産となった。一方、情報通信機械(同-6.6%)、輸送機械(同-0.7%)、鉄鋼(同-3.0%)等は減産となった。
- 製造工業生産予測調査では、5月は前月比+0.5%と増産の予定であるが、6月は-0.5%と減産の見込みである。見込みが実現した場合に、4-6月期は前期比-0.4%と小幅の減産となる。

# ～輸出入～

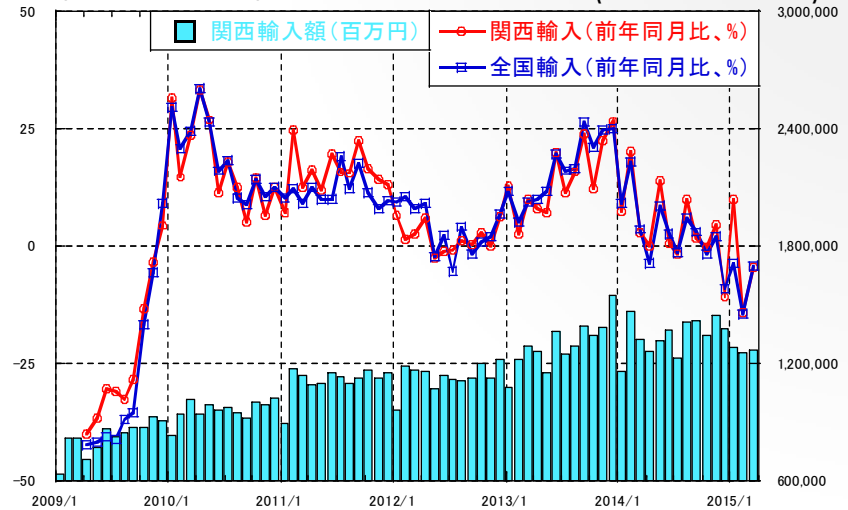
輸出動向（右：輸出額、左：前年同月比）（2015年4月まで）



(出所)大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」

- 関西4月の輸出額(速報値)は1兆3,839億円、前年同月比+5.4%と26カ月連続の増加。
- 財別に見れば、輸出増加に主に貢献したのは、半導体等電子部品、通信機であった。一方、鉱物性燃料、有機化合物は減少となった。
- 全国4月の輸出額(確報値)は6兆5,502億円となり、前年同月比+8.0%と8カ月連続の増加。財別に見れば、自動車、半導体等電子部品、原動機等の輸出が増加した。
- ちなみに、足下、為替レート(税関長公示レートベース)は119.89円と前年同月比-17.0%の円安であった。

輸入動向(右:輸入額、左:前年同月比)(2015年4月まで)

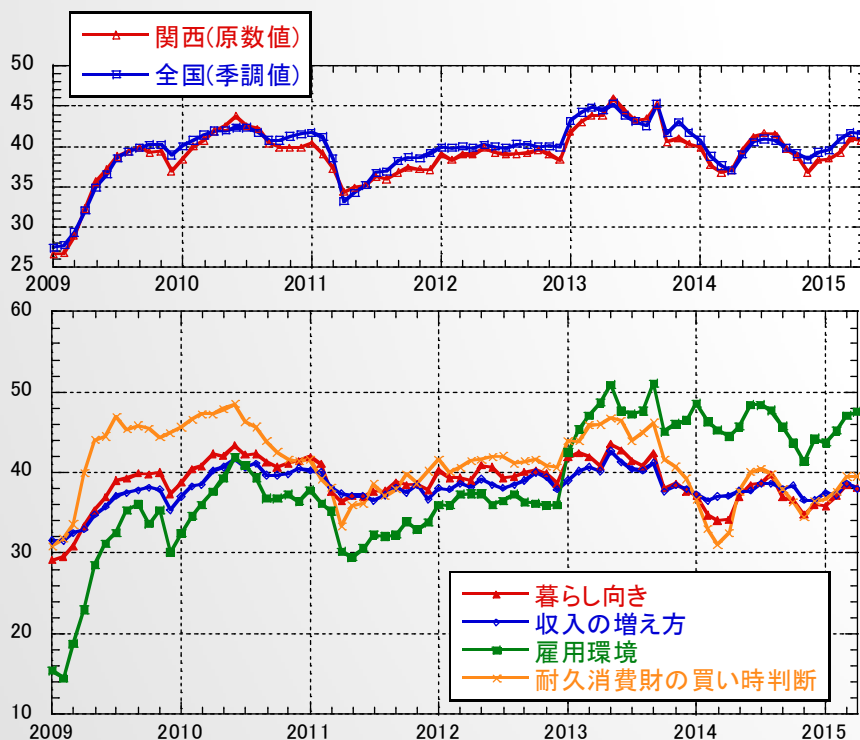


(出所)財務省「貿易統計」

- 関西4月の輸入額(速報値)は1兆2,667億円、伸びは前年同月比-4.3%と2カ月連続の減少。
- 財別に見れば、原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス等が減少した。半導体等製造装置(単月過去最高額)、たばこは増加した。
- 全国4月の輸入額(速報値)は6兆6,060億円、前年同月比-4.2%と4カ月連続の減少。財別に見れば、原粗油、液化天然ガス、鉄鉱石等の輸入が減少した。
- 結果、関西の貿易収支(速報値)は+1,171億円と2カ月連続の黒字となり、前年同月から1,275億円の改善。全国の貿易収支(速報値)は-558億円と2カ月ぶりの赤字だが、赤字幅は前年同月から-93.2%縮小した。

# ～消費者センチメント～

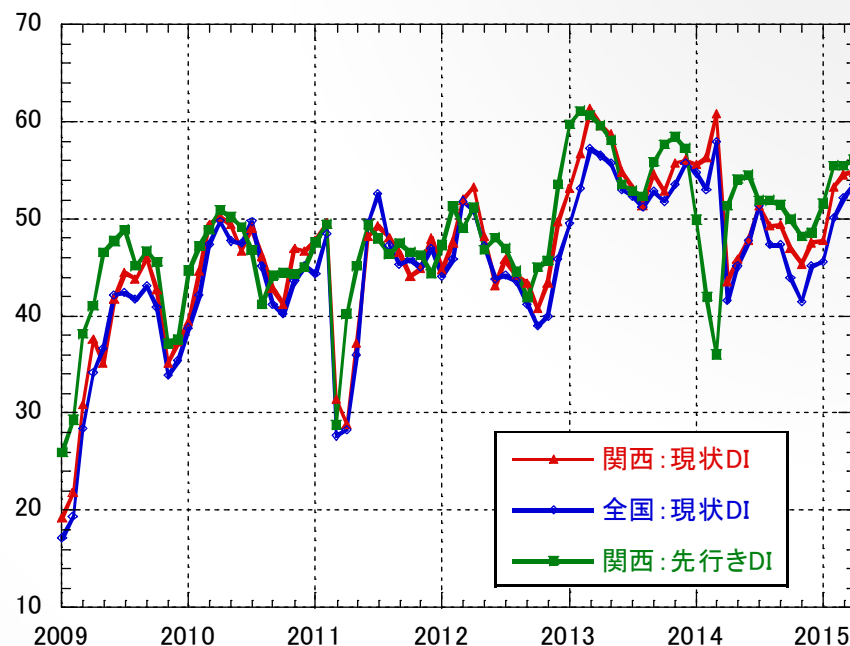
消費者態度指数(2015年4月まで)



(出所)内閣府「消費動向調査」

- 関西の4月の消費者態度指数(原数値)は前月比-0.2ポイントの40.8と、5カ月ぶりに悪化した。全国(季節調整値)でも同-0.2ポイントの41.5と5カ月ぶりに悪化した。低下幅が小さかったことから、内閣府は消費者心理の基調判断を3月と同様「持ち直している」と据え置いた。
- 関西で同指数の構成項目をみると、4月は「収入の増え方」が同-0.7ポイントで2カ月ぶりに悪化、「暮らし向き」は同-0.4ポイントと3カ月ぶりに悪化した。また、「耐久消費財の買い時判断」は前月比横ばい、「雇用環境」は同+0.4ポイントと3カ月連続の上昇であった。

景気ウォッチャー調査(2015年4月まで)

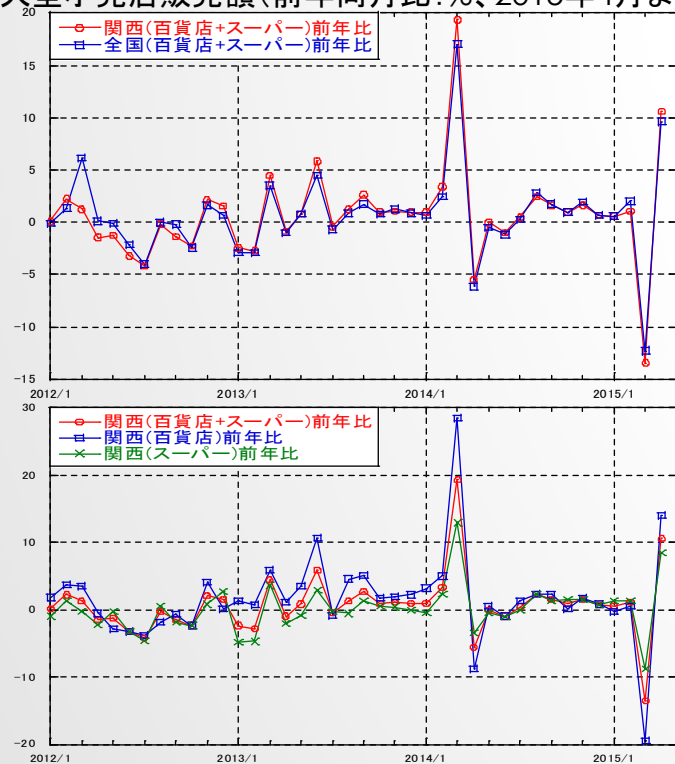


(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

- 関西の4月の現状判断DIは前月比+0.3ポイント上昇し54.9となった。5カ月連続の改善で、横ばいを示す50を3カ月連続で上回ったが、伸びは減速している。インバウンド関連の好調が続いていること、株高による高額消費の好調が主な上昇要因。全国も同+1.4ポイントとこちらも5カ月連続で改善し53.6となった。
- 先行き判断DIは、関西では前月比+0.6ポイント上昇の56.1となった。インバウンド関連の好調や賃上げによるプラス効果が期待される一方で、物価上昇を懸念する声も依然として多く、先行きは不透明な状況は変わっていない。全国は同+0.8ポイント上昇して54.2となり、5カ月連続の改善。

# ～個人消費・住宅～

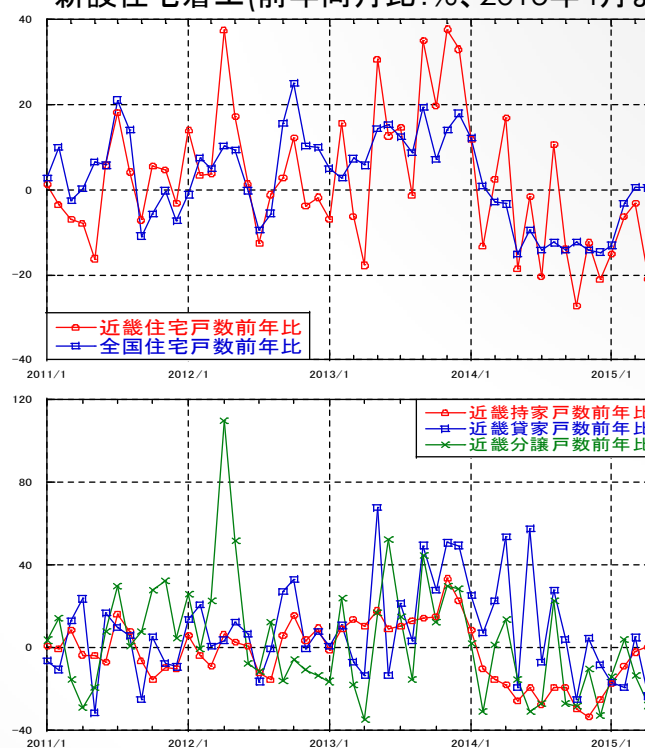
大型小売店販売額(前年同月比:%、2015年4月まで)



(注) 福井県を含む。  
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

- 関西4月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+10.5%と大幅増加し、2カ月ぶりのプラス。
- 百貨店は同+14.1%と大幅増加。2カ月ぶりの大幅プラス。
- スーパーは同+8.4%と2カ月ぶりのプラス。
- 全国の大型小売店販売額(全店ベース)は同+9.5%と2カ月ぶりのプラス。
- 前年同月は消費増税に伴う需要の反動減の影響があったため、今月はプラスの伸びが見られた。

新設住宅着工(前年同月比:%、2015年4月まで)

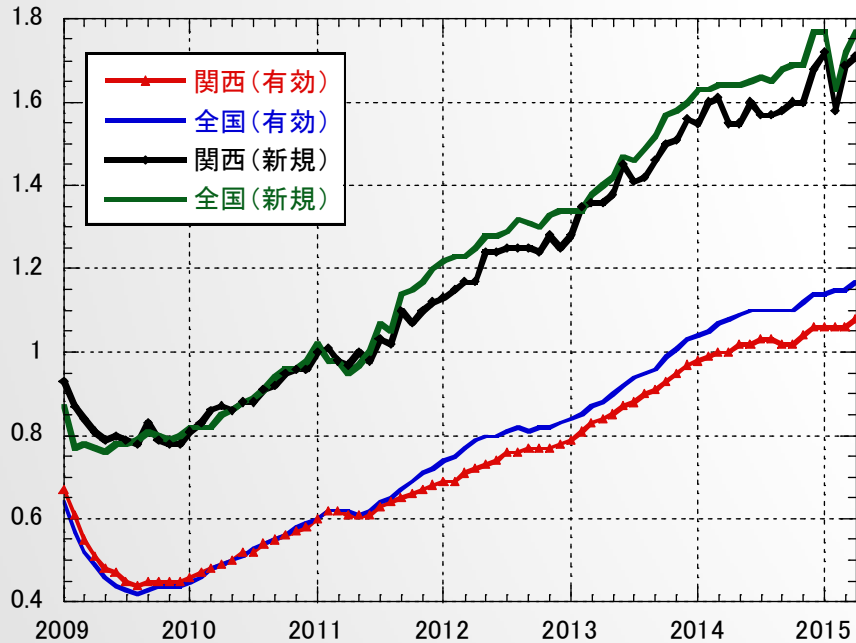


(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

- 関西4月の新設住宅着工戸数は9,823戸。前年同月比-20.9%と大幅なマイナス。8カ月連続の減少となった。
- 全国は75,617戸、同+0.4%微増した。2カ月連続のプラス。
- 関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は2,660戸。同+0.6%と15カ月ぶりの小幅増加。貸家は3,845戸、同-23.7%と2カ月ぶりの大幅減少。分譲は3,312戸、同-28.0%と2カ月連続の大幅減少となった。
- なお、4月の関西マンション契約率は73.6%(季節調整値、APIR推計)となった。好不調の目安となる70%を2カ月連続で回復した。
- 足下、全国の住宅着工は微増だったが、関西は大幅減少となった。

# ～雇用～

求人倍率の推移（季節調整値、2015年4月まで）



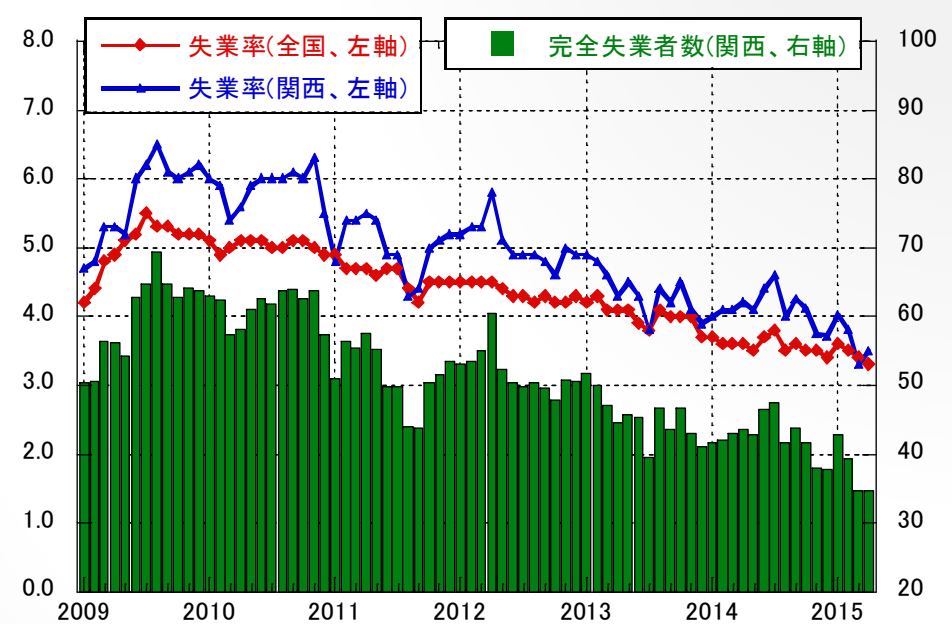
(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

関西2府4県有効求人倍率(受理地別)(2015年4月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
4月	1.17	1.08	1.02	1.10	1.17	0.96	0.93	1.02
3月	1.15	1.06	1.03	1.07	1.14	0.95	0.90	0.99

- 4月の関西の有効求人倍率は、前月比+0.02ポイント上昇し、1.08倍となった。4カ月ぶりの上昇。全国も同+0.02ポイント上昇し、1.17倍と1992年3月(1.19倍)以来の高水準。
- 府県別では滋賀県を除き有効求人倍率は上昇。京都府・大阪府・奈良県・和歌山県で同+0.03ポイント上昇、兵庫県では同+0.01ポイント上昇。滋賀県では-0.01ポイント低下。
- 4月関西の新規求人倍率は、1.71倍と前月比+0.02ポイント上昇した。全国は1.77倍と前月比+0.05ポイント上昇した。
- 関西の産業別求人数は、外国人観光客の増加を受け、宿泊・飲食サービス業は2カ月連続で2桁増(同+23.8%)。医療・福祉(同+10.5%)も堅調な伸びとなった。

完全失業率の推移（季節調整値：%、万人、2015年4月まで）



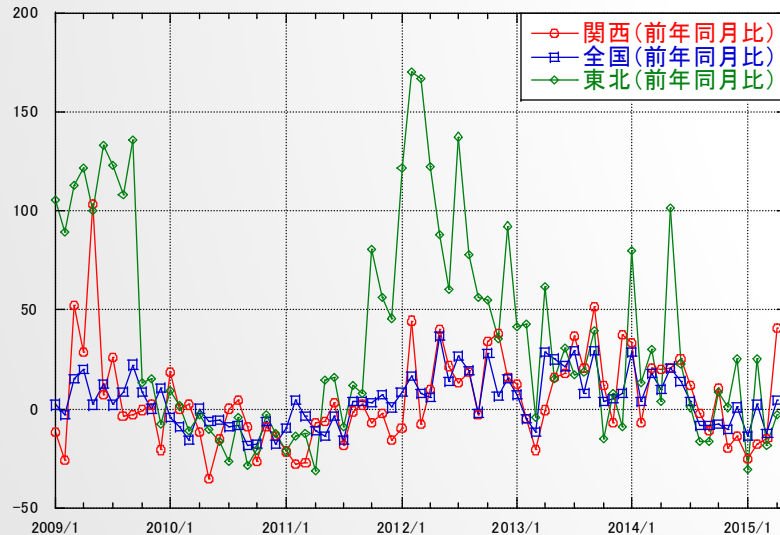
(出所) 総務省「労働力調査」

- 4月の関西の完全失業率(季節調整値：APIR推計)は3.5%で前月(3.3%)から0.2%ポイント上昇し、3カ月ぶりの悪化となった。非労働力人口が大幅に増加したことによる。
- 関西の完全失業者数(季節調整値：APIR推計)は34.6万人で前月と横ばいであった。
- 一方、全国の完全失業率(季節調整値)は3.3%、前月から-0.1%ポイント低下し3カ月連続の改善。1997年4月以来の低水準となった。勤め先や事業の都合による離職が減少した。
- 15～64歳の就業率(原数値ベース)をみると、72.9%となり、前年同月比+0.5%ポイント上昇しており、昨年の後半から高水準が続いている。
- また、正規雇用者・非正規雇用者の両方が増加しており、雇用の質も改善している(原数値ベース)。



# ～公共投資～

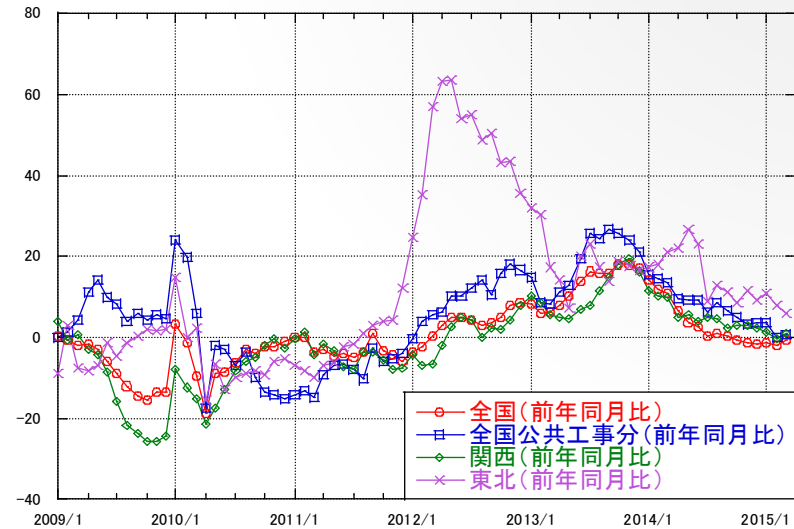
公共工事請負額(前年同月比:%、2015年4月まで)



(注)福井県を含む。  
(出所)東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

- 関西4月の公共工事請負金額は2,634億円、前年同月比+40.9%と6カ月ぶりの大幅プラス。
- 全国は1兆8,361億円、同+4.4%の増加。2カ月ぶりのプラス。
- 東北は3,622億円で同-2.7%減少し、2カ月連続の減少。
- 季節調整値(APIR推計)で見ると、4月は関西、全国共に4カ月ぶりに前月から大幅増加(関西：同+121.4%、全国：同+50.8%)。

建設工事(前年同月比:%、2015年3月まで)

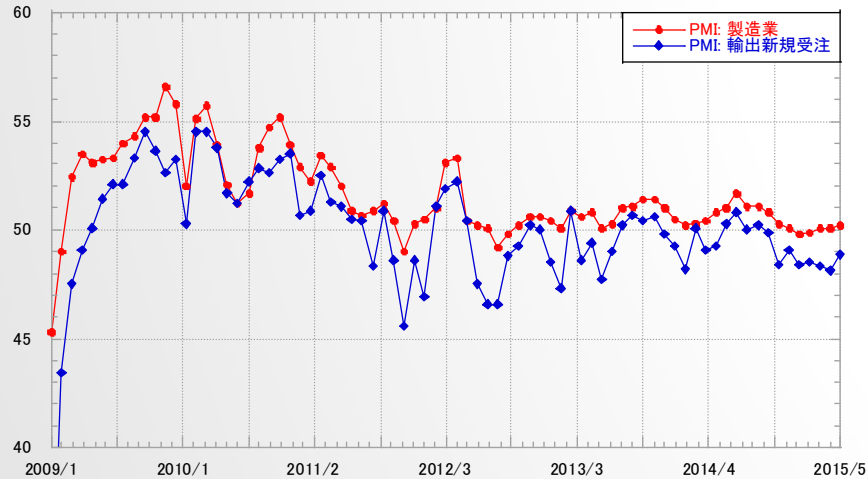


(出所)国土交通省「建設総合統計」

- 関西3月の建設工事は5,737億円、前年同月比+1.0%と2カ月ぶりの増加。
- 東北は6,763億円、同+6.0%と44カ月連続の増加。
- 全国は4兆5,202億円となり、同-0.7%と6カ月連続の減少。
- うち、全国の公共工事は同+0.8%増の2兆1,409億円となった。伸びは38カ月連続の増加も、12カ月連続で1桁にとどまっている。
- 建設工事の伸びは停滞している。

# ～中国経済動向①～

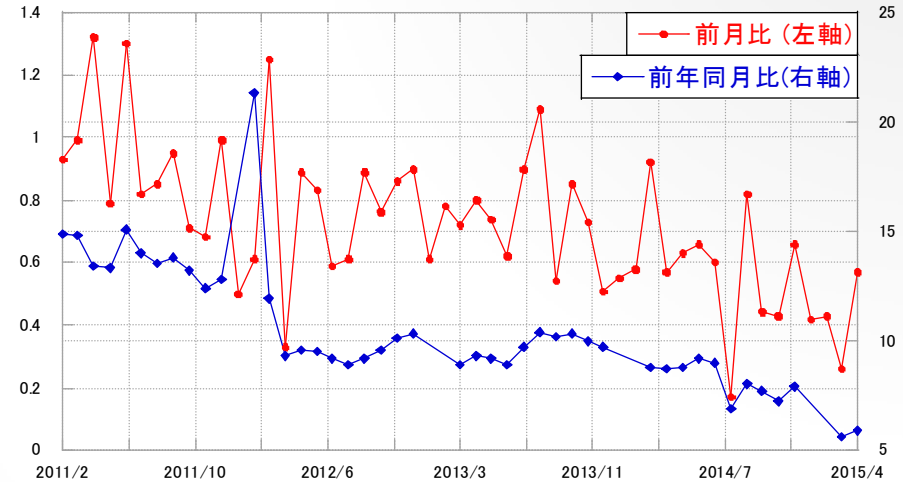
製造業購買担当者景況指数 (2015年5月まで: %)



(出所) 中国国家统计局; CEICデータベース

- 5月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は前月比+0.1ポイント上昇し50.2となり、目安となる50を3カ月連続で上回った。2月からセンチメントは幾分改善傾向にある。
- うち、生産指数は52.9と前月比+0.3ポイント上昇し、3カ月連続の改善。また、新規受注指数は50.6となり、3カ月ぶりの改善となった。一方で輸出新規受注指数は同+0.8ポイント上昇の48.9となったが、8カ月連続で50を下回った。雇用指数は48.2となり、前月から+0.2ポイント上昇し、2カ月ぶりのプラス。しかし、2012年6月以来、36カ月連続で50を下回っている。

工業生産指数(2015年4月まで: %)

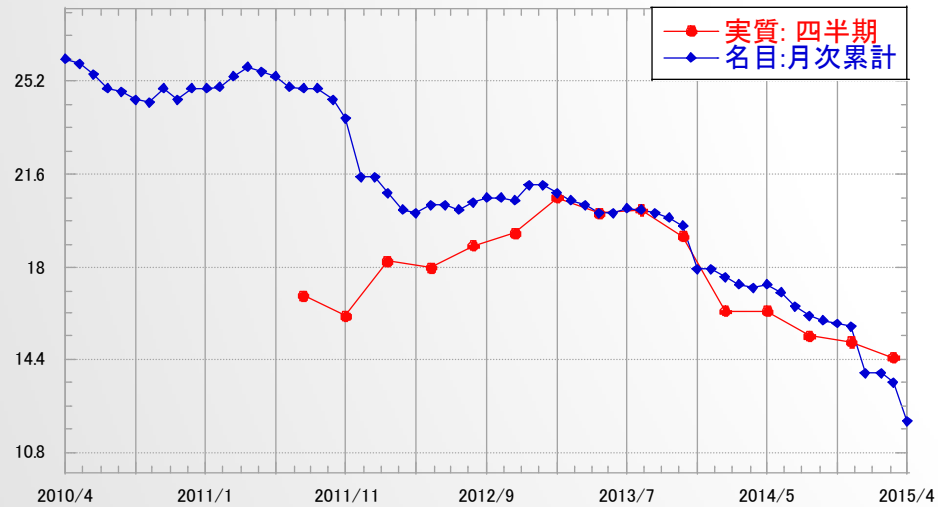


(出所) 中国税関; CEICデータベース (APIR推計)

- 4月の工業生産は前月比+0.6%と、前月から+0.3%ポイント上昇した。前年同月比+5.9%となり、前月より+0.3%ポイント改善したが、8%超だった昨年平均を大きく下回っている。
- 産業別に見ると、医薬製造業(同+11.4%)、化学原料・化学製品製造業(同+10.6%)、パソコン・通信及びその他電子設備製造業(同+10.2%)、鉄道・輸送機器製造業(同+9.2%)等が高い伸びを示す一方で、通用設備製造業(同+2.6%)、専用設備製造業(同+2.4%)、農副食品加工業(同+2.3%)、電力・熱力生産・供給業(同+0.7%)等は比較的低調な伸びにとどまった。

## ～中国経済動向②～

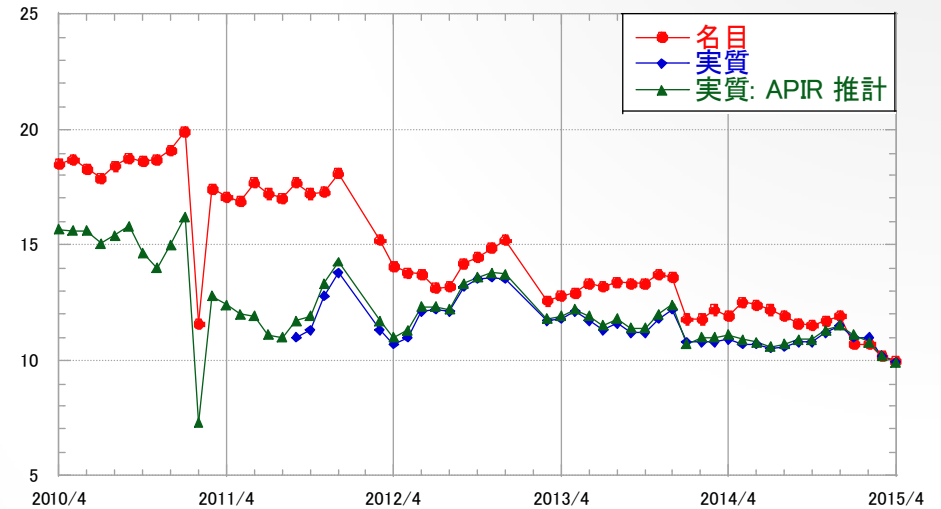
固定資産投資 (2015年4月まで:%) (累積伸び率)



(出所) 中国国家统计局; CEICデータベース

- 1-4月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+12.0%となったが、10カ月連続で前月から減速している(1-3月期: 同+13.5%)。
- 産業別に見れば、第1次産業は同+26.4%(1-3月期:+32.8%)、第2次産業は同+9.8%(1-3月期:+11.0%)、第3次産業は同+13.2%(1-3月期:+14.7%)となった。

社会消費品小売総額 (2015年3月まで:%)

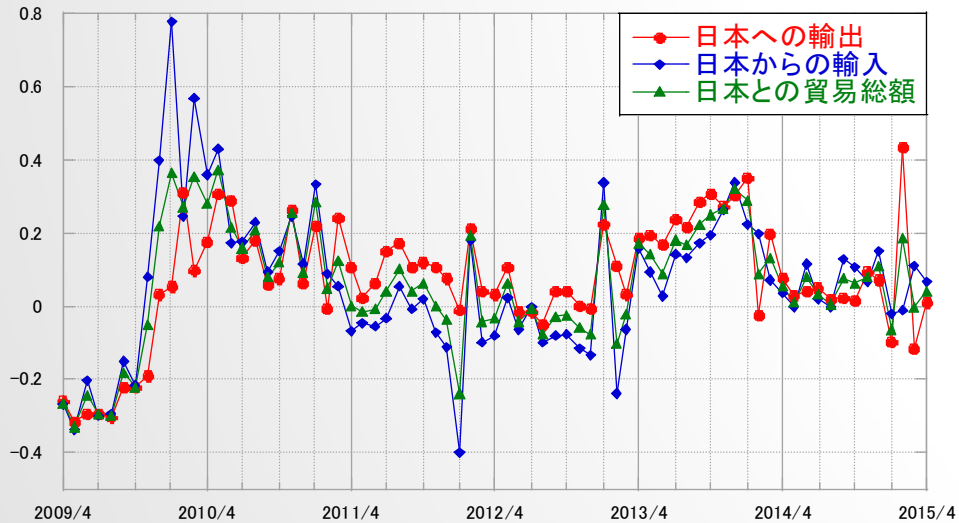


(注) APIR推計値は小売価格指数を用いて推計  
(出所) 中国税関; CEICデータベース(APIR推計)

- 4月の社会消費品小売総額の名目成長率は前年同月比+10.0%と2桁の伸びだが、2カ月連続で小幅減速した。消費は2015年に入り減速が続いている。

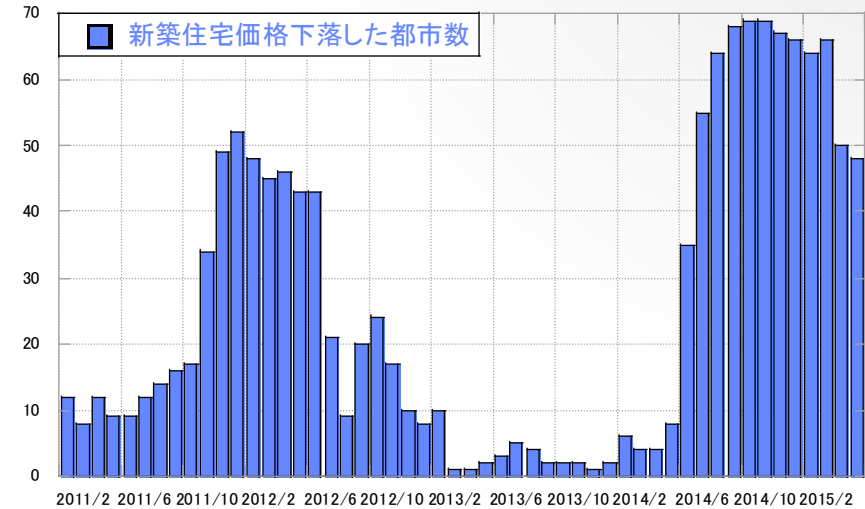
## ～中国経済動向③～

日本との貿易 (前年同月比:円ベース) (2015年4月まで:%)



(出所) 中国税関; CEICデータベース; APIR計算

新築住宅価格の主要都市集計 (2015年4月まで:都市数)



(出所) 中国労働市場情報観測センター; CEICデータベース; APIR計算

- 4月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比-6.5%と2カ月連続のマイナス。輸入額は同-16.4%(速報値)となり、6カ月連続のマイナスとなった。
- うち、日本への輸出額は同-13.3%となり、前月(同-24.8%)に引き続きマイナス。日本からの輸入額は同-8.5%となり、6カ月連続のマイナスとなった。
- 円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+1.0%となり、前月(同-11.5%)よりプラスに転じた。日本からの輸入額は同+6.7%となり、2カ月連続のプラスとなった。

- 不動産価格(新築住宅価格)を見ると、中国主要70都市のうち、4月は48都市で前月に比べ下落した。これに対して18都市では前月に比べ上昇した。4都市では横ばい。下落した都市の数は3月の50都市より減少した。

## ※関西経済のトレンド 評価基準について

- ・ 生産：近畿経済産業局『近畿地域鉱工業生産動向』生産指数(季節調整値)が前月比+0.5%以上であれば上向き、同-0.5%未満であれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ 貿易：大阪税関『貿易統計』の近畿圏貿易収支(入出超額)前年同月から500億円以上の改善は上向き、同500億円以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・ センチメント：内閣府『景気ウォッチャー調査』の近畿現状判断(方向性)DIが前月比で1ポイント以上の改善は上向き、1ポイント以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・ 消費：近畿経済産業局『大型小売店販売状況』(全店ベース)が前年同月比で1%以上増加していれば上向き、同1%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ 住宅：国土交通省『住宅着工統計』新設住宅着工戸数が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ 雇用：厚生労働省『一般職業紹介状況』有効求人倍率(季節調整値)が前月比で0.01ポイント以上の改善は上向き、変化がなければ横ばい、0.01ポイント以上の悪化は下向きとする。
- ・ 公共工事：西日本建設業保証株式会社『公共工事前払金保証統計』公共工事請負金額が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。